

木造阿弥陀如来坐像 1 軀

木造阿弥陀如来坐像

もくぞうあみだによらいざぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

所有者

宗教法人 大応寺(だいおうじ)

所在地

大阪市天王寺区餌差町 3-15

紹介



木造阿弥陀如来坐像(大応寺)

大坂城の築城とともに営まれた浄土宗の寺町寺院に伝来する阿弥陀如来像。像高 88.1 センチメートルの来迎印(らいごういん)を結ぶ等身大の玉眼像(ぎょくがんぞう)で、制作年代は室町時代後期、15 世紀後半から 16 世紀にさかのぼると考えられる。市域に伝来する優れた中世の彫刻のひとつである。